

於是所轄署ハ日裏ニ願出タル中立職工代表者ヲ招致シ  
會社ノ回答ヲ告ケタルニ代表者等ハ之ヲ罷工側ニ通シ意  
嚮ヲ認メタル上更ニ世一日解雇手當ヲ日收ニ月追加額  
シ犠牲者ヲ出ササルコトニセラレ度旨令署ヲ通シ申出タリ  
四月一日會社ハ右交渉ニ對シ手當ノ増額ハ差支ナキモ  
犠牲者ヲ出ササルコトハ會社ノ体面上容認スル能ハサル  
旨ノ回答ヲナシタル爲メ中立派代表者ハ斯クテハ到底妥  
協ノ見込立タサルヲ以テ嚴正申立ヲ持シ手ヲ引クコトト  
ナレリ。

罷業職工ハ引續キ企業立憲協會ヲ本部トシテ集  
會シ職工ノ軟化ヲ防キ傍非同盟職工ノ牽制運動ニ  
奔走シソツアリ此日出勤時間前後罷業職工二名ハ工

場前道路ニ於テ監視方便トシテ投靴ヲ爲シ居タルカ  
取締警官ノ制止ヲ止ムセサルニヨリ警察署ニ同行セム  
トスルヤ平沢計七ハ同行ニ應スル必要ナントテ之ヲ防害セ  
ルヨリ何レモ檢束セラレタリ追テ中立派職工代表者ハ  
明日ヨリ出勤就業シタキ旨申出タリ  
(四月一日)  
罷業不加盟職工等モ恐怖ノ念ヨリ出勤者殆トナ  
ク會社ハ二日モ引續キ休業シ居リ午前十一時頃罷業  
職工百八名ニ對シ解雇通知ヲ發送セリ罷業側ハ省  
魁一平沢計七檢束ノ爲メ稍氣勢ヲ殺カレタルモ示  
威運動ニ出ントスル模範アリ  
三日午後零時半頃ヨリ職工約百名企業立憲協  
會ニ集合シ同三時一團ハ正義ノ爲ニ奮起マヨ日本鑄